

個人山行 鳥見山～額井岳

2017年2月6日(月) (曇り後雪) 岡本(単独)

前日の例会が雨で流れ、代わりに今日近くの適当な山を探す。山の本をめぐっている内に、何となく、榛原(奈良県)の北にある、長谷寺から続く東海道自然歩道沿い山にすることにした。ヤマレコで車の駐めれそうなところを探し、額井岳麓の十八神社を出発点にした。

十八神社は東海道自然歩道上にある。近くには山部赤人の墓もある。そこに車を駐め、曇天で風の冷たい日であるが、標高1,000mまでの山なので軽装備で行く。まずは鳥見山を目指す。玉立橋まで戻り、そこから標識に従い鳥見山公園に向かう。簡易舗装の道は、やがてかろうじて軽四の通れそうな道になり、暫く行くと登山道になる。途中、林道を横切り20分程歩くと鳥見山公園の展望台に出る。大峰・台高の山々が見えるのだが、今日はあいにくの天気、今ひとつはっきりしない。



(右、音羽山方面、奥、大峰方面)

展望台で少し景色を楽しみ、鳥見山へ向かう。そこから標高差で100m余り登れば鳥見山で、20分程度で着く。山頂は植林した山の中にあり、



(鳥見山山頂)

標識だけで、景色は何も見えない。直ぐに退散し、貝ヶ平山に向かう。貝ヶ平山までは標識も登山道もはっきりしており、間違えることはない。30分程歩き、泥の滑りやすい急峻な坂を登り切るとそこが山頂だ。三角点を確認して香酔山へ向かう。



(貝ヶ平山山頂)

香酔山の分岐は、貝ヶ平山から来た道を数分戻り、左に折れる。標識はなく、テープと踏み跡頼りのコースになる。滑りやすく、所々道が分かり難くなる場所もあるので、地図と磁石で位置を確認しながら進む。香酔山の山頂も標識があるだけで何も見えない。



(道は少し荒れている)



(香酔山山頂)

山頂から、また、滑りやすく、分かり難い道を進む。途中、水田跡のようなところに出て、そこを右に暫く行くと高圧線の下で三角点にでる。ここで昼食をとる。この先もコースがはっきりせず、香酔峠に出る最後の下りは適当に植林の中を下りることになる。

峠に出たものの、額井岳への道が分からない。少しウロウロし、産廃業者の敷地の中に道ら

しきものが見えたのでそこから登る。古いテープもあり、進んでいくと何となく登山道らしいところに出る。後は、慎重にテープと踏み跡を追いかけ、方向だけは間違わないように進んでいく。地図には道は出ていないが、その内に東にあるピークに出る。ピークを過ぎ、鞍部から直登出来そうだったが、鞍部で交差するしっかりした道があり、右額井岳とあったのでそちらに向かう。暫く等高線沿いの水平道を行くと、東海道自然道からの登山ルートに出会い、後は標高差 130m程まっすぐ登ると山頂に着く。

山頂で少し休んでいると急に雪が降ってきた。時間に余裕があり、戒場山まで行こうか思案しているところだったので、これ幸いと下山する。途中、雪がみぞれになり仕方なくゴアテックスを着る。みぞれの中、無事、十八神社まで下る。久々に地理院の地図とコンパスのお世話になりました。

《コースタイム》

9:00 十八神社→9:18 玉立橋→10:13 鳥見山公園→10:32 鳥見山 (735m) →11:07 貝ヶ平山 (822m) →11:40 香酔山 (795m) →12:09 高圧線下 (647m) →12:35 香酔峠→13:08 額井岳西ピーク (750m余) →13:33 額井岳 (812m) →14:15 十八神社



(額井岳山頂)



(十八神社)